

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	施策	③ 医療・福祉の充実	
			施策の小項目名	○離島の医療・福祉サービスの充実	
主な取組	へき地医療支援機構運営事業			実施計画記載頁	316
対応する主な課題	③離島・へき地の医療については、救急医療をはじめとして地域のみで十分な提供ができない場合があるため、沖縄本島の医療機関と離島診療所等との連携体制を整備・拡充する必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
離島・へき地の医療機関での勤務を希望する医師の情報収集を全国規模で行う。 離島・へき地の医療支援を円滑かつ効率的に実施するため、総合的な離島・へき地医療支援のための各種医療施策の企画調整や代診医の派遣等を行う。		188人 ドクターバンク 登録医師数	203人	218人	233人	248人
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	保健医療部保健医療総務課		【098-866-2169】			
		離島・へき地医療機関での勤務を希望する医師への情報提供 へき地診療所等への代診医派遣に係る調整				

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況							(単位:千円)		
予算事業名							へき地医療支援機構運営事業		
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
							当初予算額	主な財源	
各省計上	委託	-	-	-	-	31,929	45,701	各省計上	○H29年度: 離島・へき地の医療機関での勤務を希望する医師の情報収集を行った。 離島・へき地の診療所に対して、代診医の派遣を行った。  ○H30年度: 離島・へき地の医療機関での勤務を希望する医師の情報収集・仲介を行う。 離島・へき地の診療所に対して、代診医の派遣を行う。
予算事業名									
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
							当初予算額	主な財源	
									○H29年度:  ○H30年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	ドクターバンク登録医師数				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	129	135	140	173	203	188	100.0%	31,929	順調	<p>求人医療機関と求職医師の窓口を沖縄県へき地医療支援機構内に設置し、県内の公的医療機関勤務を希望する医師の情報収集を行った。また、沖縄県へき地医療支援機構として、離島・へき地診療所に対して代診医の派遣等の支援を行った。</p>
活動指標名	代診医派遣日数				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	123	116	129	111	132	110	100.0%			<p>進捗状況の判定根拠と取組の効果</p> <p>県内の公的医療機関勤務を希望する医師の情報を管理するドクターバンクの登録数計画値188名に対し、203名の登録があった。また、代診要望のあった離島へき地診療所に対し132日の代診を行い、へき地離島地域における医療提供体制の確保を図った。</p>
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	(2)これまでの改善案の反映状況		
								平成29年度の取組改善案		反映状況
<p>①県(県病院事業局含む)、及び関係市町村、拠点病院等のそれぞれの関係者が離島医療問題とそれに対する取組を共有するために協議する場を引き続き設ける。</p> <p>②拠点病院が離島・へき地医療に更なる貢献が図れるよう、連絡会議を行うなどをしてへき地医療支援機構と拠点病院との連携を強化し、離島・へき地における医療提供体制の確保を図る。</p>					<p>①離島へき地の診療所や、医師及び看護師住宅の周辺環境整備(剪定、草刈り等の外環境に関するもの)について、地域としてどのように行っていくかなど、離島医療がかかえる問題について、県(県立病院事業局含む)及び関係市町村のそれぞれの関係者が協議する場を設けた。</p> <p>②へき地医療支援機構と県立病院担当で定期的に会議を持ち、離島診療所への代診医派遣について課題を共有した。</p>					



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

#### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

##### ○内部要因

・離島・へき地診療所等では、長期間にわたる医師の定着が難しい。医師確保後も医師自身の体調不良等によって医師不在となる場合がある。

・医師不足は本県共通の課題であり、代診医を派遣することのできる余力がある県内の医療機関は限られている。

##### ○外部環境の変化

・他県のへき地と比較して本県のへき地は人口減少が緩やかであるため、依然として本県のへき地における医療需要は相対的に高い。

・国要綱において、へき地医療支援機構は、へき地医療拠点病院に対し、へき地診療所への医師の派遣(代診医派遣を含む)要請を行うこととされているが、平成29年7月31日厚生労働省医政局地域医療計画課長通知において、へき地医療拠点病院は、医師派遣、代診医派遣、巡回診療のいずれか月1回以上あるいは年12回以上実施することが望ましいと具体的に示されたことから、今後、県内へき地医療拠点病院がこの要件を達成するよう、へき地医療支援機構として、要請していく必要がある。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・へき地医療拠点病院における離島・へき地診療所等への代診医派遣や医療情報支援、勤務環境の改善等の支援の状況について、支援実績の把握及び問題点の確認等を行う必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・へき地医療拠点病院が厚生労働省課長通知で記される、医師派遣、代診医派遣、巡回診療のいずれか月1回以上あるいは年12回以上の実施を行い、離島・へき地医療に更に貢献できるよう、県、へき地医療支援機構、拠点病院による連絡会議を行うなど各機関の連携強化を図るとともに、代診医派遣等の強化など、へき地医療拠点病院による離島・へき地医療への一層の取組を促す。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	施策	③医療・福祉の充実	
			施策の小項目名	○離島の医療・福祉サービスの充実	
主な取組	ヘリコプター等添乗医師等確保事業			実施計画記載頁	316
対応する主な課題	③離島・へき地の医療については、救急医療をはじめとして地域のみで十分な提供ができない場合があるため、沖縄本島の医療機関と離島診療所等との連携体制を整備・拡充する必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
急患空輸を実施する自衛隊、海上保安本部のヘリ等航空機への医師等添乗体制を確保し、離島からの急患の救命率の向上、後遺症の軽減を図るため、添乗医師等派遣協力病院の運営費等を補助する。		12病院	12病院	12病院	12病院	12病院
実施主体		県、市町村				
担当部課【連絡先】		保健医療部医療政策課 【098-866-2111】				
		当番医師への報償費・災害補償費、添乗協力病院への運営費補助				

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況							(単位:千円)		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
予算事業名	ヘリコプター等添乗医師等確保事業(単独事業)						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
県単等	補助	4,775	7,675	5,440	5,218	5,574	6,120	県単等	○H29年度: 添乗当番医師等への報償費及び災害補償費の補助を行った。 ○H30年度: 添乗当番医師等への報償費及び災害補償費の補助を行なう。	
予算事業名	ヘリコプター等添乗医師等確保事業(交付金事業)						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
一括交付金(ソフト)	補助	29,200	29,200	29,279	44,084	32,850	32,850	一括交付金(ソフト)	○H29年度: 添乗医師等派遣協力病院(11病院)への運営費の補助を行った。 ○H30年度: 添乗医師等派遣協力病院(12病院)への運営費の補助を行なう。	

様式1(主な取組)

活動指標名	ヘリコプター等添乗協力病院数				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		10病院	11病院	11病院	11病院	11病院	12病院	91.7%	38,424	順調
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
								進捗状況の判定根拠と取組の効果 急患空輸を実施する自衛隊、海上保安部のヘリ等航空機への医師等の当番添乗体制を確保することにより、急患空輸を安定的に実施することができた。平成29年度は、185件(187人)を搬送し、離島へき地における救急医療に貢献した。 添乗協力病院に新たに参画する病院の医師等への研修等を行ない、平成30年度からの12病院による当番体制を整えた。		
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度 of 取組改善案						反映状況				
①添乗協力病院の新規確保のため、引き続き救急告示病院へ添乗協力病院への参画推進を図る。 ②平成24年度から一括交付金を活用して実施している派遣協力病院に対する運営費の補助を引き続き実施する。						①平成28年度に協力要請を行なった1病院から添乗協力の承諾を得られたことから、当番の調整や医師等への研修等を行ない、平成30年度からの12病院による当番体制を整えた。 ②一括交付金を活用して実施している派遣協力病院に対する運営費の補助を実施した。				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

- ・添乗当番病院は曜日ごとに決めており、固定の曜日を毎週担当する病院と、複数の曜日を隔週で担当し、場合によって週に2回当番となる病院がある
- ・添乗医師等を確保するために当番日の人員配置を行なうなど、添乗当番病院には大きな負担となっている。
- ・高度な医療機器を装着して搬送する際に専門技術を有する医療従事者の添乗も必要になる場合がある。

#### ○外部環境の変化

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・各添乗当番病院の当番日数を減らして当番病院に係る人員配置等の負担を軽減するため、当番病院の更なる増加を進める必要がある。
- ・高度な医療機器を操作する臨床工学士は添乗対象となっていないので、本事業の対象職種としての追加を検討する必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

- ・添乗当番病院の新規確保のため、引き続き救急告示病院へ添乗当番病院への参画推進を図る。
- ・平成24年度から一括交付金を活用して実施している派遣協力病院に対する運営費の補助を引き続き実施する。
- ・本事業の対象職種として臨床工学士の追加を検討する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	施策	③医療・福祉の充実	
			施策の小項目名	○離島の医療・福祉サービスの充実	
主な取組	救急医療用ヘリコプター活用事業			実施計画記載頁	316
対応する主な課題	③離島・へき地の医療については、救急医療をはじめとして地域のみで十分な提供ができない場合があるため、沖縄本島の医療機関と離島診療所等との連携体制を整備・拡充する必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
救急医療用ヘリコプターを安定的に継続して運航することで、傷病者の救命率の向上、後遺症の軽減に寄与し、離島・へき地の救急医療体制の強化を図る。		350件	353件	356件	359件	362件
		搬送件数(県内)				
実施主体	浦添総合病院					
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課		【098-866-2111】			
		ドクターヘリ運営費の補助、搬送先病院へのヘリポート整備の促進				

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名		H25年度					H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	当初予算額	主な財源		
救急医療用ヘリコプター活用事業(補助事業)										
各省計上	補助	211,765	217,391	218,191	250,549	250,549	250,549	各省計上	○H29年度: ドクターヘリ運航に係る運営費の補助を行った。(250,549円) ○H30年度: ドクターヘリ運航に係る運営費の補助を行う。(250,549円)	
救急医療用ヘリコプター活用事業(交付金事業)										
一括交付金(ソフト)	補助	31,526	31,074	34,483	19,876	22,324	22,324	一括交付金(ソフト)	○H29年度: 運営費の不足分に対する追加補助を行った。 ○H30年度: 運営費の不足分に対する追加補助を行う。	

様式1(主な取組)

活動指標名	搬送件数(県内)				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	334件	323件	326件	347件	455件	350件	100.0%	272,873	順調	活動概要 ドクターヘリ実施病院に運営費を支援することにより、年間を通じて継続した運航を行なう体制を確保した。 平成29年度実績 搬送件数455件 搬送人数459人)
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠と取組の効果 平成29年度は455件、459人(H30.3月末時点)を搬送した。 ドクターヘリを運航することにより、傷病者への迅速な初期医療処置が可能となり、救命率向上及び後遺症低減に寄与した。
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
①ドクターヘリの安定継続的運航を図るため、ドクターヘリの運航に関して、本県特有の地理的特性等の事情により全国に比べ割高となっている運営経費に対し、一括交付金を活用した補助を継続して実施する。						①ドクターヘリの安定継続的運航を図るため、ドクターヘリの運航に関して、本県特有の地理的特性等の事情により全国に比べ割高となっている運営経費に対し、一括交付金を活用した補助を継続して実施した。				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

・本県のドクターヘリは、地理的特性等の沖縄特有の事情(燃料費が割高、洋上飛行が多く付属品のフロート等の装備品が必須、それに伴う減価償却費の負担増等)により全国に比べ割高となっている。

・搬送回数の半数以上で飛行距離が半径100kmを超える洋上飛行となっており、全国と比べ搬送距離及び搬送時間が長くなっている。

#### ○外部環境の変化

・平成28年度に鹿児島県奄美地域にドクターヘリが導入されたことにより、沖縄県ドクターヘリによる与論島、沖永良部島、徳之島の搬送件数が減少した。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・沖縄特有の地理的特性等の事情により全国に比べ割高となっている燃料費、減価償却費等については、引き続き、その運営経費に対する支援について実施を行う必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・ドクターヘリの安定継続的運航を図るため、ドクターヘリの運航に関して、本県特有の地理的特性等の事情により全国に比べ割高となっている運営経費に対し、一括交付金を活用した補助を継続して実施する。



様式1(主な取組)

活動指標名	補助施設整備に向けた取組				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		実施	実施	実施	実施	実施	—	100.0%	0	順調
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
<p>①市町村からの要望があれば、離島・へき地地域における安定的な医療を確保するため、計画通りに事業遂行できるよう現地の事業に精通している各町村担当者と連携を図り、綿密に調整を行う。</p> <p>②市町村からの要望があれば、離島・へき地地域では資材や人材確保、原材料高の影響による入札不調等により、工事の長期化が懸念されることから、施工計画の定期的な見直し等、進捗管理を徹底する。</p>						<p>①平成29年度については、市町村からの要望がなかったことから取組実施はなかった。</p> <p>②平成29年度については、市町村からの要望がなかったことから取組実績はなかった。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

○外部環境の変化

・平成29年度については、市町村からの要望がなかったことから取組実施はなかったが、今後要望があった場合は、整備対象施設が離島やへき地にあるため、資材確保に時間を要するほか、近年の建築関係工事の人材不足、原材料高の影響による入札不調等、工事が長期にわたる傾向がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・平成29年度については、市町村からの要望がなかったことから取組実施はなかったが、今後要望があった場合は、施設整備を行う上で、県担当部署が現地の事情に精通した各町村と綿密に調整して、計画の通りの事業が遂行できるよう連携が必要である。  
・毎年度、市町村の要望を確認するとともに、過去に実施した離島、へき地地域における施設整備等の公共工事に関する前例を確認し、工期や各地域の個別状況に留意する必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・市町村からの要望があれば、離島・へき地地域における安定的な医療を確保するため、計画通りに事業遂行できるよう現地の事業に精通している各町村担当者と連携を図り、綿密に調整を行う。

・市町村からの要望があれば、離島・へき地地域では資材や人材確保、原材料高の影響による入札不調等により、工事の長期化が懸念されることから、施工計画の定期的な見直し等、進捗管理を徹底する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	施策	③医療・福祉の充実	
			施策の小項目名	○離島の医療・福祉サービスの充実	
主な取組	専門医派遣巡回診療			実施計画記載頁	316
対応する主な課題	③離島・へき地の医療については、救急医療をはじめとして地域のみで十分な提供ができない場合があるため、沖縄本島の医療機関と離島診療所等との連携体制を整備・拡充する必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
離島に住む住人が、島内で専門医の診察を受診できるようにするため、離島診療所において専門医による巡回診療を実施する。		100回				
実施主体		県				
担当部課【連絡先】		保健医療部医療政策課 【098-866-2111】				
		眼科、耳鼻科等の専門医による巡回診療				

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
専門医派遣巡回診療支援事業									
一括交付金(ソフト)	委託	18,443	20,000	27,950	35,051	27,091	32,001	一括交付金(ソフト)	○H29年度: 離島診療所において、専門医による巡回診療92回、受診者延べ1,002名の診療を実施した。 ○H30年度: 離島診療所において、専門医による巡回診療109回、受診者延べ1,090名程度の診療を実施する。
離島巡回診療ヘリ等運営事業									
各省計上	委託	—	—	—	—	13,200	27,177	各省計上	○H29年度: 離島診療所において、専門医による巡回診療28回、受診者延べ382名の診療を実施した。 ○H30年度: 離島診療所において、専門医による巡回診療34回、受診者延べ340名程度の診療を実施する。

様式1(主な取組)

活動指標名	巡回診療回数				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		57	71	85	106	120	100	100.0%	40,291	順調
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠と取組の効果
										平成24年度からの専門医派遣巡回診療支援事業による継続的な事業実施に伴い、平成29年度からの新規事業の実施により巡回診療回数及び受診者数は増加傾向にある。市町村のニーズの的確な把握、派遣元医療機関の拡充など事業施行に際して課題はあるものの、沖縄県内の小規模離島における専門診療科の受診機会の確保がされつつあり、医療格差の是正、定住条件の整備が図られている。
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
<p>①専門医の安定的な派遣を行うため、既存の派遣元医療機関との連携を強化するとともに、医師派遣に協力する医療機関の拡充を図る。</p> <p>②離島診療所及び町村役場との緊密な連絡・調整により地域の医療ニーズを把握し、新たな診療科目・巡回先の開拓を図る。</p>						<p>①専門診療に対する地域住民のニーズの的確な把握・掘り起こしを行ったことで診療需要は増加したものの、それに対応する医師の確保が難航した。</p> <p>②離島診療所及び町村役場と連携し、地域の医療ニーズと提供可能な診療科目のマッチング等を推進した。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

- ・事業の安定・継続的な実施に向けて、派遣する専門医の確保を行う。
- ・さらなる巡回診療回数の増加を図るため、新規事業による巡回診療回数を増加させる。

#### ○外部環境の変化

- ・各離島における受診機会を充実させるには、地域の医療ニーズと提供可能な診療科目のマッチングを行う。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・専門医の確保に向け、既存の派遣元医療機関との連携を強化するとともに、新規事業の周知を図り、医師派遣に協力する医療機関の拡充を図る必要がある。
- ・地域の医療ニーズに応じた適切な巡回診療を実施し、専門診療科の受診機会の確保を図るため、離島診療所及び町村役場との緊密な連絡・調整により事業目的についての理解や協力体制を拡充し、新たな診療科目・巡回先の開拓を進める必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

- ・専門医の確保に向け、既存の派遣元医療機関との連携を強化するとともに、新規事業の周知を図り、医師派遣に協力する医療機関の拡充を図る必要がある。
- ・地域の医療ニーズに応じた適切な巡回診療を実施し、専門診療科の受診機会の確保を図るため、離島診療所及び町村役場との緊密な連絡・調整により事業目的についての理解や協力体制を拡充し、新たな診療科目・巡回先の開拓を進める必要がある。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	施策	③医療・福祉の充実	
			施策の小項目名	○離島の医療・福祉サービスの充実	
主な取組	離島患者等支援事業			実施計画記載頁	316
対応する主な課題	③離島・へき地の医療については、救急医療をはじめとして地域のみで十分な提供ができない場合があるため、沖縄本島の医療機関と離島診療所等との連携体制を整備・拡充する必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
離島のがん患者、難病患者、妊産婦等の島外の医療機関への通院に係る経済的負担を軽減することを目的として、これらの者に対し、島外への通院に要する船舶運賃、航空運賃及び宿泊費を助成する市町村に対して、その助成に要する経費の一部を県が補助する。		18市町村				
実施主体	県、市町村					離島患者等へ助成する市町村に対する補助
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課 【098-866-2111】					

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況							(単位:千円)		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
予算事業名	離島患者等支援事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度:平成29年度新規事業である離島患者等支援事業について、市町村への事業周知を図った結果、13市町村が本事業を活用した。	
県単等	補助	—	—	—	—	6,894	13,405	県単等	○H30年度:平成29年度と同じく14市町村が本事業を活用する計画であり、市町村に対する事業周知及び活用促進を図る。	
予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度:	
									○H30年度:	

様式1(主な取組)

活動指標名	補助市町村数				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	13	18	72.2%	6,894	やや遅れ	<p>平成29年度新規事業である離島患者等支援事業について、市町村への事業周知を図った結果、13市町村が本事業を活用し、延べ2,123人の負担軽減を図った。</p>
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			<p>進捗状況の判定根拠と取組の効果</p> <p>対象18市町村中13市町村が本事業を活用することにより、離島患者等が島外へ通院する際の経済的負担を軽減し、良質かつ適切な医療を受ける機会を確保した。</p> <p>なお、残り5市町村中3市町村については、独自事業により、島外への通院を要する離島住民に対して助成を行い経済的負担の軽減を図っている。</p>
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案								反映状況		
—								—		



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

・関係市町村による離島患者等に対する助成が促進し、離島・へき地の医療提供体制の状況、離島地域の高齢化に伴う疾病構造の変化、市町村及び離島患者等のニーズを踏まえた柔軟かつ効率的な執行を行う。  
・本事業の活用には補助要件ではないが、市町村による離島患者等への助成の拡充を図る。

#### ○外部環境の変化

—

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・離島・へき地の医療提供体制の状況、離島地域の高齢化に伴う疾病構造の変化、市町村及び離島患者等のニーズを的確に把握するため、地域住民に最も身近な市町村との意見交換等を定期的に行い、より効率的かつ効果的な制度設計等を図る必要がある。  
・市町村による離島患者等への助成の拡充を図る必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・離島・へき地の医療提供体制の状況、離島地域の高齢化に伴う疾病構造の変化、市町村及び離島患者等のニーズを的確に把握するため、地域住民に最も身近な市町村との意見交換の機会を継続して確保し、より効率的且つ効果的な制度設計等を図る。

・市町村の取組状況を県HPに公表するとともに、市町村による離島患者等への助成の拡充に対し働きかけを行っていく。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	施策	③医療・福祉の充実	
			施策の小項目名	○離島の医療・福祉サービスの充実	
主な取組	県立病院医師派遣補助事業			実施計画記載頁	316
対応する主な課題	③離島・へき地の医療については、救急医療をはじめとして地域のみで十分な提供ができない場合があるため、沖縄本島の医療機関と離島診療所等との連携体制を整備・拡充する必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
離島・へき地における医療提供体制を確保するため、病院事業局に補助を行い、必要な医師を確保する。						
①県立9離島診療所への医師配置(無医地区医師派遣事業) ②北部・宮古・八重山病院への専門医派遣(専門医派遣事業)						
実施主体		離島・へき地の住民医療の確保に対する助成				
県、病院事業局						
担当部課【連絡先】	保健医療部保健医療総務課 【098-866-2169】					

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
県立病院医師派遣補助事業							当初予算額	主な財源		
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額				
一括交付金(ソフト)	補助	302,611	302,917	322,172	322,929	394,047	434,032	一括交付金(ハード)	○H29年度: ①県立9離島診療所で勤務する医師の person 費を支援した。 ②北部・宮古・八重山病院への専門医派遣を支援した。 ○H30年度: ①県立9離島診療所で勤務する医師の person 費を支援する。 ②北部・宮古・八重山病院への専門医派遣を支援する。	
予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
							当初予算額	主な財源		
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額				
									○H29年度:	
									○H30年度:	

様式1(主な取組)

活動指標名	離島診療所派遣医師数				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	9	9	9	9	9	9	100.0%	394,047	順調	<p>活動概要</p> <p>県立9離島診療所への医師の継続的配置を行うための費用(医師の人件費)を補助した。また、全国の民間医療機関等から北部・宮古・八重山病院へ専門医等を派遣するため、派遣元病院等との労働者派遣法に基づく派遣契約に係る費用を補助した。</p> <p>進捗状況の判定根拠と取組の効果</p> <p>県立9離島診療所に対し、計画どおり9人の医師を派遣し、対象地域の医療提供体制の確保を図った。</p> <p>また、北部・宮古・八重山病院に対する、民間医療機関等からの専門医等の派遣について、計画どおり17名の専門医を派遣し、離島・へき地における医療提供体制の確保を図った。</p>
活動指標名	北部・宮古・八重山病院への専門医派遣医師数				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	8	12	16	13	17	17	100.0%			
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
<p>①離島・へき地に派遣する医師の確保に向け、合同就職説明会への参加、県ホームページ等を活用した情報発信、研修プログラムの充実等、県立病院に後期研修医を集めるための取組を推進する。</p> <p>②離島・へき地勤務が派遣医師のキャリア形成上のデメリットとならないよう、他の医師確保関連事業(県立病院医師確保環境整備事業の指導医招聘、専門医研修派遣事業や離島・へき地病院勤務後の留学補助等)との連携によりキャリアアップ・スキルアップ機会の確保を図る。</p>						<p>①他の医師確保関連事業において、県立9診療所へ派遣される後期研修医の養成を沖縄県病院事業局に委託している。養成の対象となる後期研修医を沖縄県病院事業局に集めるため、同事業局が実施する、合同就職説明会(臨床研修(後期研修)内容の説明会)への参加、県ホームページ等を活用した情報発信、研修プログラムの充実等の取組を支援した。</p> <p>②他の医師確保関連事業において、学会や研修会への参加機会の増加を図る等、離島・へき地勤に勤務する医師のキャリアアップ・スキルアップ機会の確保を図った。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

- ・無医地区医師派遣事業について、診療所に勤務する医師が時間外診療を行う際も、安心して診療に従事できる環境の整備が課題となっている。
- ・専門医派遣事業について、派遣協力医療機関の新規開拓が課題となっている。

#### ○外部環境の変化

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・無医地区医師派遣事業について、9診療所への医師派遣が円滑に行われるよう、診療所に勤務する医師が安心して診療業務に従事できる環境の整備を図る必要がある。
- ・専門医派遣事業に関して、派遣協力医療機関の更なる確保を図る必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

- ・無医地区医師派遣事業について、診療所に勤務する医師が安心して診療業務に従事できる環境の整備を図るため、病院事業局と関係市町村との所要の調整を適宜支援する。
- ・専門医派遣事業に関して、沖縄県病院事業局に対し、派遣協力医療機関の更なる確保を図るよう促すとともに、派遣協力医療機関の増に対応できるよう予算の確保に努める。